

草津市立玉川小学校 学校だより

令和3年3月4日

第16号

玉川小学校長

小野澤 祐子

4つのき

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

「進級」・「卒業（進学）」へのカウントダウン！！

今年度の最終の月、3月に入りました。学校では1年間の残り少ない日数を、子どもたちに「進級」・「卒業（進学）」を意識させながら、教育課程を計画的に進めています。授業は、新しい学習だけではなく、1年間の振り返りをする教科もあります。

また、卒業に関係する行事等を通して、1年間、同じ学級で学習したり遊んだりした友だちのよさや学級集団のすばらしさを、再確認することを大切にしています。

卒業までの日々、一日一日を大切に過ごし、玉川小の6年生として自信を持って卒業してほしいと思います。卒業式に在校生は参列できませんが、前日には全校で6年生を見送ります。当日は在校生の感謝の思いも込めて温かい式にしたいと思っております。よろしくお祈りします。

「世界料理オリンピック」銅メダル受賞者をお招きして

卒業をひかえた6年生が、いろいろな生き方を学びながら自分の生き方を見つめる機会をつくろうと、「世界料理オリンピック」銅メダルを受賞された笠松研太さんをゲストティーチャーとしてお招きし、お話を聞きました。

笠松研太さん【クサツエストピアホテル】

2016年にドイツで開催された「第24回世界料理オリンピック」において、個人部門見事『銅メダル』を獲得された方です。世界料理オリンピックは、4年に1度ドイツで開催される100年の歴史を有する料理大会の最高峰です。第24回大会は、59カ国約2000人のシェフが集まりましたそうです。

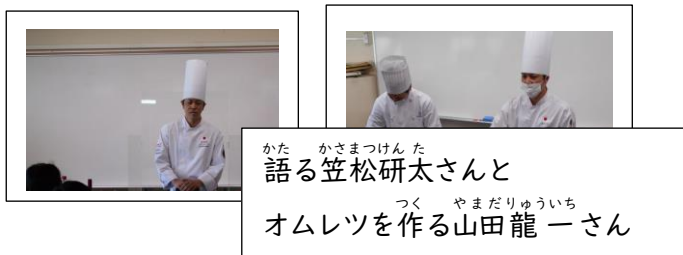


笠松さんの話より

料理の修行で、先輩や上司から叱られ、時にはつくった料理を捨てられることもあった。毎日のように「やめたい」と思っていた。やめる理由を考えることは簡単なことだ。しかし、大切なことは、続けていく理由を考えることである。自分がなぜそのことをやっているのかを、立ち止まって考えてほしい。叱ってくれるのは、自分を育てようとしているからである。自分があきらめずに、精一杯がんばって

いと、^{かなら}必ず^{まわ}周りの人が、^{ひと}手をさし^てのべてくれる。そして常に^{つね}目の前^めにあることを^{まえ}きっちりすること
で、チャンスをつかむことができる。^{ゆめ}夢や^{もくひょう}目標^むに向かって、あきらめずに、がんばってほしい。

子どもたちが^{あこが}憧れをもつ^{すてき}素敵な^{であ}出会いとなりました。
そして私^{わたし}自身の^{じしん}生き方を^い改めて^{かた}見直す^{あらた}機会^{みなお}になりました。^{きかい}ありがとうございました。



語る^{かた}笠松研太^{かさまつげんた}さんと
オムレツを作る^{つく}山田龍一^{やまだりゅういち}さん

『6年生ありがとう』…感謝の思いを伝えました

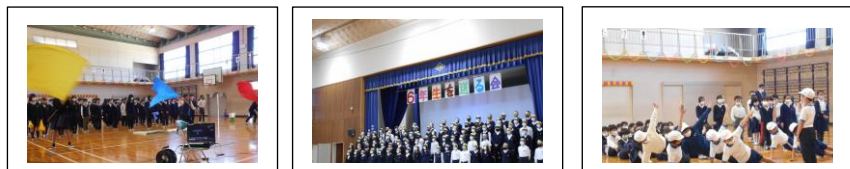
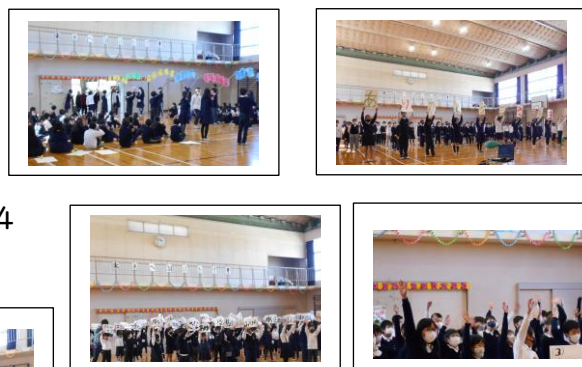
2月25日(木)は、最後のフレンズデーでした。お世話になった6年生や一緒に楽しく活動してきた友だちとのお別れ会を、たてわり班で行いました。5年生が進行役となり、1年生～5年生がリーダーや鍵盤ハーモニカの演奏等を通して盛り上げると共に、これまでの感謝の気持ちを伝えました。

6年生もメッセージやお礼の気持ちを伝えました。たてわり班の活動に継続して取り組むことで、子どもたちの連帯感を高めることができたように思います。



3月3日(水)には、『6年生を送る会』を行いました。感染予防対策のため6年生は体育館で待機し、1～5年生が、交代で体育館に入り、「今までありがとう」という気持ちや「中学校でも頑張てね」という気持ちを込めて、発表しました。会の様子はオンラインで各教室に配信しました。どの学年も熱い思いで感謝を伝え心温まる感動的な送る会になりました。1～5年生が力を合わせて作った王冠やメッセージカードもプレゼントしました。

「卒業おめでとう月間」は、2月15日からスタートしましたが、6年生を送る会に向けての会場や校舎内の飾り付け、司会進行など、5年生が大活躍の月間でした。4月から6年生としての活躍が楽しみになりました。



今年度はコロナ禍で様々な活動が中止・縮小を余儀なくされ、人との触れ合いが大きく制限される中ではありましたが、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、できることを精いっぱいさせていただくことができました。感謝申し上げます。これからも玉川の子どもたちが、やさしい思いやりのある人に成長できるよう、皆様と共に学校づくりを進めていきたいと考えております。
学校だよりを1年間読んでいただきましてありがとうございました。